

指導教員		学 年	第 1 学年 全クラス
教 科	国語科	科 目	言語文化
単 位 数	2	使用教科書等	言語文化（大修館書店）
授業の目標	○読む ・内容、構成、展開などを叙述に即して的確にとらえる ・作品に表れるものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する ・表現の仕方、特色について評価する ・作品の背景や、他作品との関係をふまえ、解釈を深める ・ものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもつ ○書く ・言語文化に関わり深い題材を決め、表現を工夫して書く		
前期中間 授業進度	第 1 回 オリエンテーション ＊タブレット P C 使用 ○言語文化への視点 ・身近な言語文化に親しむ ・読書の役割について理解を深める 第 2 回 吉岡乾「世界を見渡す窓」① 第 3 回 吉岡乾「世界を見渡す窓」② 第 4 回 吉岡乾「世界を見渡す窓」③ 第 5 回 吉岡乾「世界を見渡す窓」④ ○古文に親しむ ・古文の文体や仮名遣いに慣れる ・作者の伝えたいことをとらえる 第 6 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」① 第 7 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」② 第 8 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」③ 第 9 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」④ 第 10 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」⑤ 第 11 回 宇治拾遺物語「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」⑥ 第 12 回 古典の言葉 ＊タブレット P C 使用 中間試験（第 1 回～第 12 回と若松英輔「文字の深秘」、今昔物語集「阿蘇の史、盗人にあひてのがるること」を試験範囲とする）		
前期期末 授業進度	○言葉の紡ぐ世界 ・作品の構成や展開をとらえる ・作品の語り手に着目する 第 1 回 芥川龍之介「羅生門」① 第 2 回 芥川龍之介「羅生門」② 第 3 回 芥川龍之介「羅生門」③ 第 4 回 芥川龍之介「羅生門」④ 第 5 回 芥川龍之介「羅生門」⑤		

	第 6 回 芥川龍之介「羅生門」⑥ 第 7 回 小説の構造 *タブレット P C 使用 ○漢文に親しむ ・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ ・孔子や孟子の名言に親しみ、現代との関わりについて考えを深める 第 8 回 私たちと漢文 *タブレット P C 使用 第 9 回 返り点の種類と用法 *タブレット P C 使用 第 10 回 「論語」① 第 11 回 「論語」② 第 12 回 再読文字の種類と用法 *タブレット P C 使用 第 13 回 「論語」③ 第 14 回 「論語」④ 第 15 回 主な助字の種類と用法 *タブレット P C 使用 第 16 回 漢文の基本構造 *タブレット P C 使用 期末試験（第 1 回～第 16 回と西加奈子「ゼイナブの指」、「孟子」を試験範囲とする）
後期中間 授業進度	○伝統と発展 ・作品における自然や美のとらえ方について理解を深める ・作品における表現の仕方に着目する 第 1 回 高階秀爾「実体の美と状況の美」① 第 2 回 高階秀爾「実体の美と状況の美」② 第 3 回 高階秀爾「実体の美と状況の美」③ 第 4 回 高階秀爾「実体の美と状況の美」④ 第 5 回 短歌・俳句の修辞 *タブレット P C 使用 ○自然へのまなざし ・古人は四季の移ろいを何によってとらえていたのかを理解する ・古人の優れた感性に触れ、現代の美意識と比較する 第 6 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」① 第 7 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」② 第 8 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」③ 第 9 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」④ 第 10 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」⑤ 第 11 回 徒然草「をりふしの移り変はるこそ」⑥ 第 12 回 係り結び *タブレット P C 使用 第 13 回 季節を感じる *タブレット P C 使用 第 14 回 久保田淳「春と秋」 中間試験（第 1 回～第 14 回と「短歌 十五首」、「俳句 十二句」、枕草子「九月ばかり」を試験範囲とする）

後期期末 授業進度	○表現の多様性 ・ 作品における比喩や象徴の役割について理解を深める ・ 作品において、どのようなことが表現されようとしているかについて、考えを深める 第 1 回 夏目漱石「夢十夜」① 第 2 回 夏目漱石「夢十夜」② 第 3 回 夏目漱石「夢十夜」③ 第 4 回 夏目漱石「夢十夜」④ 第 5 回 比喩と象徴 *タブレット P C 使用 ○現代に生きる言葉 ・ 故事成語の意味や背景について理解を深める ・ 作者が話に込めた意図を読み取る 第 6 回 「蛇足」(戦国策) ① 第 7 回 「蛇足」(戦国策) ② 第 8 回 「蛇足」(戦国策) ③ 第 9 回 「蛇足」(戦国策) ④ ○想いを表す言葉〈一〉 ・ それぞれの歌を声に出して読み、和歌のもつ韻律に親しむ ・ 和歌の表現の特徴について理解を深める 第 1 0 回 恋するころ 第 1 1 回 四季の移ろい 第 1 2 回 旅と別れ 第 1 3 回 和歌の修辞 *タブレット P C 使用 ○想いを表す言葉〈二〉 ・ 漢詩のきまりと表現の特色を知り、漢詩の世界に親しむ ・ 漢詩が日本文学に与えた影響をとらえる 第 1 4 回 自然 第 1 5 回 友情 第 1 6 回 人生 第 1 7 回 漢詩の形式と表現① *タブレット P C 使用 第 1 8 回 漢詩の形式と表現② *タブレット P C 使用 期末試験(第 1 回～第 1 8 回と村上春樹「青が消える」、阿部公房「良識派」、「完璧」(十八史略)を試験範囲とする)
--------------	--